

# 大学ハンドボールにおける感動体験と五感との関係

スポーツマネジメントゼミナール 1313007 石坂 真実

## 1. 研究動機・研究目的

オリンピック等で繰り上げられている素晴らしいパフォーマンスに代表されるような、より高い技術、より良い成績を目指して、また自らの目標への達成を目的とする競技スポーツは、人々の感動を掻き立てる（大隅・西村, 2003）。感動とは肯定的な情動であり、やる気の向上や興味拡大などを喚起する動機付けの効果があると久保（2013）は述べている。スポーツは人々に感動を与える、という言葉はスポーツを表現する上でよく使われるが、感動の分野においてスポーツに特化した研究はまだ少ない。

本研究では、感動体験などの自分の何かを変えるような出来事に遭遇しやすい青年期（戸梶, 2004）にある学校のハンドボール部に所属する大学生を調査対象とし、1）ハンドボール競技において競技者・観戦者はどのような感動体験をしているのかを明らかにすること、2）個人的属性（学年、性別、役職、パーソナリティ等）による違いが感動場面に影響するのかを明らかにすること、3）ハンドボール競技において五感と感動体験がどのように関係しているのかを明らかにすることを目的とした。

## 2. 研究方法

調査対象：関東学生ハンドボールリーグ男女1部および2部リーグに所属し、2016年春季関東学生ハンドボールリーグ戦に出場した36チームの中で調査への協力を得られた10チームの、同リーグ戦に所属していた大学生191名（男子学生67名、女子学生124名）とした。競技者に対する項目は選手のみ、観戦者に対する質問項目は選手・マネージャー・トレーナーに回答をしてもらった。

調査期間：本研究の調査用紙を2016年6月15日に配布または郵送し、同年6月末に回収した。

調査項目：

- ①個人的属性（学年・性別・役職・ハンドボール継続年数）
- ②Big Five 尺度短縮版（並川, 2012）
- ③スポーツ競技者における感動場面（8因子31項目）五感感動場面（5因子19項目）
- ④スポーツ観戦者における感動場面（8因子27項目）五感感動場面（5因子18項目）

## 3. 主な結果と考察

ハンドボール競技を行う大学生は、一体感場面、逆転勝利場面、ハイレベル場面、仲間意識場面、ヒューマニティ場面、成功体験場面、全力・目標達成場面、付加的要素場面の8場面と五感から刺激を得る場面で感動体験をしていることが明らかになった。ハンドボール観戦をする大学生は、共鳴・一体感場面、スタジアムライブ観戦場面、ドラマ的展開場面、卓越したプレー場面、劣勢からの活躍場面、懸命な姿場面、ヒューマニティ場面、付加的要素場面の8場面と五感から刺激を得る場面で感動体験していることが明らかにな

った。

個人的属性は感動場面に影響を与えることが明らかになった。競技感動場面では、女性の方が感動体験をしていることが明らかになった。五感から刺激を得る競技場面では、4年より1年の方が感動体験をしていた。また、観戦感動場面では、女性の方が感動体験をしており、役職においては選手よりもスタッフ（マネージャー・トレーナー）の方が感動体験をしていた。競技継続年数において比較すると「スタジアムライブ観戦場面」（自分が好きな選手や有名な選手をスタジアムで生観戦すること）で年数が短い方が感動体験をしており、「観戦 卓越したプレー場面」（選手の個人技術やチーム連携がとても優れている場面）で年数が長い方が感動体験をしていた。このことから、継続年数により、選手やチーム自体に感動するか、選手の個人技術やチーム連携が優れている場面で感動体験をして技術などのパフォーマンス的なものに注目するかが変わることが考えられる。五感から刺激を得る観戦場面では、有意差は認められなかったものの学年の全ての項目で1年の平均値が高かったことが明らかになった。

ハンドボール競技者も観戦者も五感からの刺激が得られる場面で感動体験をしていることが分かった。このことから、人間の五感と感動体験には深く関わりがあることがいえる。また、視覚・聴覚等の刺激（他人の言動等）により感動体験を得たことから社会的影響にも関係があることが分かった。

#### 4. 結論

ハンドボール競技を行う大学生は、一体感場面、逆転勝利場面、ハイレベル場面、仲間意識場面、ヒューマニティ場面、成功体験場面、全力・目標達成場面、付加的要素場面の8場面と五感から刺激を得る場面で感動体験をしている。ハンドボール観戦をする大学生は、共鳴・一体感場面、スタジアムライブ観戦場面、ドラマ的展開場面、卓越したプレー場面、劣勢からの活躍場面、懸命な姿場面、ヒューマニティ場面、付加的要素場面の8場面と五感から刺激を得る場面で感動体験している。また、競技者・観戦者、両者とも劇的な展開場面において最も感動体験をしている。

個人的属性は感動場面に大きく影響を与えており、誰もが同じ場面で同じように感動体験をしているわけではない。

ハンドボール競技者も観戦者も五感からの刺激が得られる場面で感動体験をしており、人間の五感と感動場面には深い関係がある。また、社会的影響にも関係がある。

#### 5. 卒業論文の執筆を終えて

本研究を進めるにあたり、適切な助言を賜り、また丁寧に指導して下さった指導教官の小笠原悦子先生に深く感謝いたします。また、お忙しい中にもかかわらず、貴重なご意見をくださった大学院生の方々、翻訳にご協力いただいた先生方、アンケート調査に快く答えてくださった関東学生ハンドボールリーグ男女1部および2部リーグに所属している学生の皆様に感謝致します。本当にありがとうございました。